

技能伝承で10万円を支給

ベテランの経験 技術の底上げ図る 共有へ新制度

自動車部品の アイコクアルファ

自動車部品製造のアイコクアルファ（本社稲沢市祖父江町森上本郷十一-4の1、樋田克史社長）は、社内の技能伝承を促すためユニークな制度を立ち上げた。ベテラン社員から若手社員に技能を伝承できれば、ベテランに10万円を支給する。ベテランの豊富な知識や経験を社内でも共有し、社内全体の底上げにつなげる。（勝又佑記）

新制度では、ベテラン社員らを「技能伝承士」として登録を受け付ける。対象は精密冷間鍛造や切削加工など全4事業の全社員。製造に限らず、設計や営業部

門でもノウハウの伝承を促す。登録者は、事前に伝承する内容を申請する。申請から1年たつて伝承できていれば、登録者に10万円を支



樋田克史社長

給する。

伝承する内容は幅広く受け付ける。工具を長持ちさせるための研磨の方法、荷物運びを支えるハンドクレイン「ラクラクハンド」の効率的な組立方などを想定している。営業ノウハウの伝承も見込む。同社は、以前からベテラ

ンが活躍しやすい環境を整えてきた。60歳で定年退職した社員を契約社員として長く再雇用する制度を運用している。今回技能伝承士制度も立ち上げて、ベテランの技を生かすとともに「社内でも技能伝承を活性化

する」（樋田社長）考えた。同社は、自動変速機（AT）用の歯車や回転を伝える等速ジョイントの内輪などを生産している。自動車分野以外の製品も手掛け、航空機部品やラクラクハンドを造っている。